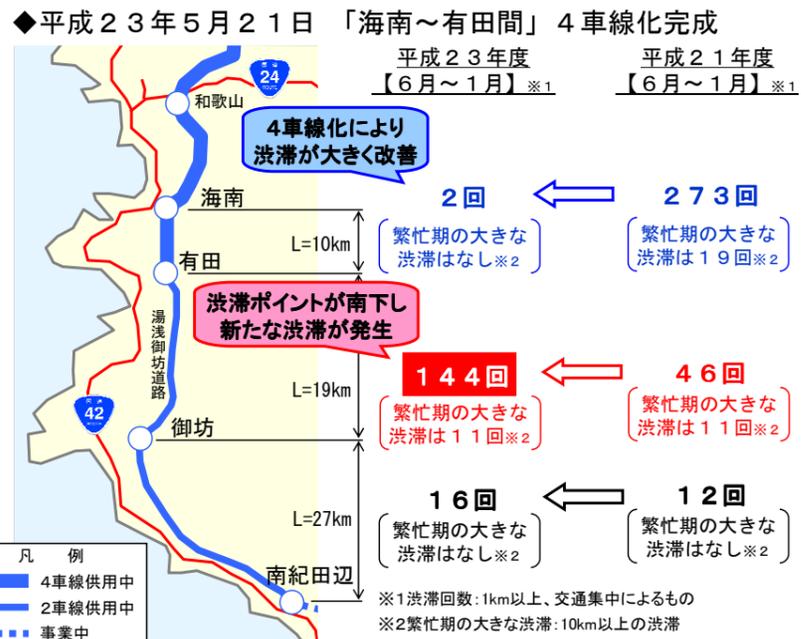


事故による長時間の通行止



H24. 12. 21付け
「紀伊民報」より
国道42号タンクローリー横転事故(白浜町)

近畿自動車道紀勢線暫定2車線区間の渋滞状況



紀伊半島大水害の被災状況



越波の影響を受ける国道42号(すさみ町)

渋滞状況と重大事故の発生



国道42号熊野大橋を越える濁流(新宮市)



H24. 8. 13 暫定2車線区間の渋滞(有田南 IC 付近)



H20. 4. 22付け
「紀伊民報」より

近畿自動車道紀勢線及び京奈和自動車道の
早期整備を求める要望書

平成25年1月
和歌山県町村会

近畿自動車道紀勢線及び京奈和自動車道の早期整備を求める要望

高速道路は、観光振興や企業立地など地域住民の将来のチャンスを保障するものであり、大規模災害に備えた国土強靱化の観点からも不可欠な、最も基礎的かつ重要な社会基盤である。

一昨年の紀伊半島大水害においては、紀南地方の唯一の幹線道路である国道42号が、洪水や越波等により各所で通行止めとなり、近畿自動車道紀勢線が整備されていない地域においては、迅速な救助・救援活動に支障が出るなど、改めて高速道路の必要性を痛感したところである。

さらに、暫定2車線で供用中の有田～南紀田辺間は、全国でも有数の交通量による慢性的な渋滞や対面交通による重大事故の発生などが深刻な問題となっている。

一方、紀北地方に位置する京奈和自動車道は、京都・奈良・和歌山を結び関西大環状道路の一部を担い、関西経済を活性化するために不可欠な道路であるとともに、京阪神地域と連携した広域的な防災体制強化のためにも、その整備は喫緊の課題となっている。

これらを踏まえ、近畿自動車道紀勢線及び京奈和自動車道が一日も早く整備されるよう、次の諸点について特段の配慮を要望する。

1. 近畿自動車道紀勢線のミッシングリンクの早期解消

- 「すさみ～太地間」、「新宮～大泊間」については、平成24年度内に事業評価など必要な手続きを実施し、平成25年度に新規事業化すること
- 事業中区間である「田辺～すさみ間」、那智勝浦道路については、平成27年紀の国わかやま国体までの供用に向けた整備を推進すること

2. 近畿自動車道紀勢線「有田～南紀田辺間」4車線化の早期実現

- 「有田～御坊間」については、事業評価など必要な手続きを実施し、早期に事業着手すること
- 平成21年度補正予算で経済危機対策として事業化されたものの、事業着手が見合わされている「御坊～南紀田辺間」については、早期に事業を復活させること

3. 京奈和自動車道の早期整備

- 紀北東道路については、平成25年度の供用予定に向けた整備を推進すること
- 紀北西道路については、平成27年紀の国わかやま国体までの供用に向けた整備を推進すること

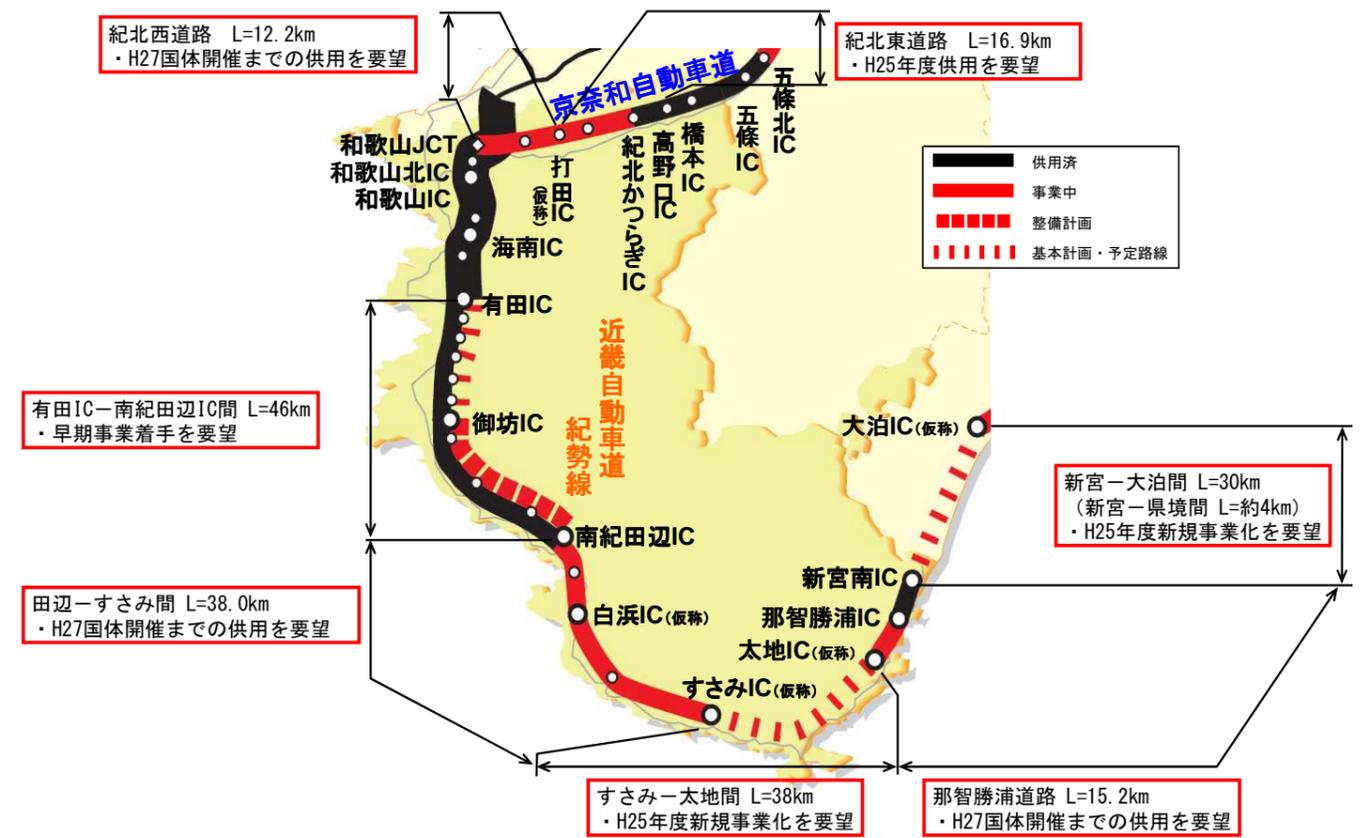
4. 真に必要な道路予算の確保

- 高速道路から生活道路まで、老朽化した道路構造物の総点検・改修や、総合的な事前防災・減災対策をはじめ、地域が真に必要なとする道路整備を計画的かつ着実に推進するために必要な道路関係予算について、平成24年度補正予算及び平成25年度予算は全額確保すること

平成25年1月25日

和歌山県町村会
会長 有田川町長 中山 正隆

近畿自動車道紀勢線及び京奈和自動車道の整備状況



近畿自動車道紀勢線「すさみ～太地間」、「新宮～大泊間」の新規事業化について

